

いつも市民の目線で!!

“山さんのホームページ”

www.k-yamasan.com

寝屋川市議会議員

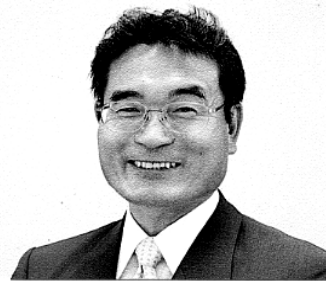
山崎 きくお



平成22年1月号 (第79号)

寝屋川市文化振興条例を制定

文化で築く 心豊かなまちづくり



新年あけまして
おめでとうございます。

昨年の十二月八日(二二日に「十二月定例市議会」が開催されました。

そして、市長から提案された十二の案件のうち「寝屋川市文化振興条例の制定」については、まず文教常任委員会でも条例案の内容等が審議されました。

一般質問でも確認

この条例案の内容については、不明確な点が多いので、私は一般質問でも取り

上げて、次のように質問をしました。

【山さんの質問内容】

- ① 「文化」とは何か。
- ② 国の法律では「文化芸術振興基本法」となっているが、「文化」と「文化芸術」とはどう違うのか。
- ③ この条例は、何を目的としているのか。
- ④ この条例の制定によって、市民がどう変わるのか。寝屋川市が、今までとどう変わるか。

心豊かな市民生活を

これに対して、社会教育部長は次のように答弁しました。

【担当部長の答弁内容】

① 「文化」とは、人が自然との関わりの中で身に付け

ていく立ち居振る舞いや衣食住をはじめとする暮らし、生活様式、価値観など全てものを言います。
② 芸術とは文化の範疇にあるもので、具体的には音楽、美術、写真等を指し、また芸能とは文楽、歌舞伎などの伝統芸能や落語等を指すものです。
③ ④ 条例を制定する目的は、市民と市が文化について共通認識をもち、協働して文

化の振興を図ることにより、心豊かな市民生活と、ユニケーションの活発化により活力ある地域社会の実現を目指すものです。

全会一致で条例可決

そして最終日の本会議で委員会の審議結果が報告され、採決の結果、全会一致で可決しました。

なお、この条例は本年四月一日から施行されます。

第二京阪道路開通記念行事

大阪サイクルイベント ウォーキングイベント などを開催予定

開催日：3月14日(日) 開通は3月20日の予定

【午前中】

◆サイクリング走行 (有料)

○スポーツ自転車の部

第二京阪門真 IC～枚方学研 IC 往復 約30km
1,500台、参加費3,000円、スタート:午前8時

○一般自転車の部

寝屋川北 IC～枚方学研 IC 往復 約10km
1,000台、参加費1,000円、スタート:午前9時30分

【午後】

◆ウォーキングイベント (有料)

第二京阪門真 IC～枚方学研 IC 間内 約6～8km
3,000人、参加費500円、スタート:正午

◆道路開放 (無料)

寝屋川北 IC 付近 (現在、寝屋川市で計画中です)

※詳しくは大阪府、寝屋川市の広報紙をご覧ください。

寝屋川市議会議員 山崎 きくお 事務所

〒572-0031 寝屋川市若葉町34番10号

TEL. 072-829-1900 E-mail. genkina@k-yamasan.com

大きな声で、元気なあいさつ!!
山さんのあいさつ運動

山さんの一般質問(要旨) ①

十二月一六日～一八日の三日間、十二月定例市議会の一般質問が行われました。

今回は三二人中一六人の議員が一般質問を行い、色々な観点から市政全般にわたって市長や理事者の考えを質しました。(一般質問は、あらかじめ質問内容を通告すれば、誰でも質問することができま

す)
私は今回も一般質問に立ち、次の内容について質問を行いました。

①アウトカム指標による行政評価について

〔山さんの質問〕

寝屋川市では、平成十三年度から事務事業評価を、一六年度から施策評価を実施しているが、これまではほとんどインプット指標(事業などに投入された人や予算などの数

値)とアウトプット指標(仕事量や参加者数などの結果の数値)による評価であった。

しかし、最近アウトカム指標(施策や事業の成果や効果、市民満足度など)の設定による行政評価を行うべきだとする意見が多い。

私は、行政評価として単に「何をしたか」ではなく、「そ



の結果、どのような成果があったか。市民生活がどのように変わったか」が重要であると考える。

アウトカム指標による行政評価について、市はどのように考えるか。

〔理事者の答弁〕

PDCI(計画・行動・確認・改善)のマネジメントサイクルを展開するため、アウトカム指標による効果測定を行い行政評価の実施が重要であると認識しています。

このため、行政評価制度の導入以来、アウトカム指標の設定に少しでも近づけるよう努力しながら、自治経営システムの推進に努めてまいりました。

第五次総合計画の策定に際しては、アウトカム指標を活用した適切な行政評価となるよう、指標の精査等に取り組みとともに、市民の視点から効果的な測定ができる指標の設定などについて、更に検討してまいります。

(次号へつづく)

山さんのコラム

三浦綾子と感謝婦人

三浦綾子のエッセイにこんな内容の一章がある。

旭川に周囲から「感謝夫人」と呼ばれた女性がいた。

ある季節はずれの長雨が続き誰もが困っていたとき、感謝夫人は「長い雨で感謝しています。これだけの量の雨が、もし一度に降ったら、たちまち洪水になって大災害になっているでしょう。神さまはその大雨を長い日数に分けて少しずつ降らせて下さっているのです。ね。神さまに感謝です。」と答えたそう。

三浦綾子も「私は長年脊髄カリエスで苦しんできた。神様は限りない優しさで、この痛みを一〇数年に分けて与えて下さったのだ。もし症状が一度に悪化すれば、耐え切れるものではない。本当に神様に感謝だ。」と書いている。

与えられた環境をどう受け止めるか。感謝の心があれば生き方が変わるかも知れない。